

後楽園能舞台と能・狂言の魅力を見直し！

岡山後楽園能舞台復元60周年記念事業一覧表 ※10月1日以降のものを掲載。



岡山後楽園の能舞台は、後楽園が一応の完成をみた後の宝永4（1707）年に完成し、享保19（1734）年の改築を経て、明治維新後、昭和に至るまで岡山の文化の中心として、200年以上にわたって能や狂言の上演に用いられてきましたが、戦災で焼失してしまいました。戦後、昭和33（1958）年に復元され、現在も能や狂言を中心とした芸術公演に活用されています。

今年は、この復元から60周年に当たることから、これを機に能舞台で演じられる能・狂言への関心を高めるとともに、舞台の歴史やその価値についても広く普及啓発を行い、300年の歴史を誇る大名庭園としての後楽園の魅力を発信していきます。

○能舞台一般公開（主催事業等）

事業名	日程	主催
和 문화体験 座敷で楽しむ	10月26日(金)、12月21日(金)	岡山県、 (公財)岡山県郷土 文化財団
亭舎公開	10月22日(月)・23日(火)・25日(木)	
お座敷から眺める夜の紅葉《秋の幻想庭園》	11月21日(水)・23日(金・祝)	

○能・狂言公演（関連事業）

公演名	日程	主な内容（出演者等敬称略）	主催
岡山後楽園で 能をたのしむ会	10月6日(土) 11:30開演	【能】「東北」 山崎英紗子 ほか 【能】「野守」 山崎浩之 ほか 【狂言】「鬼瓦」 茂山あきら ほか 【独吟】「隅田川」 藤井千鶴子	(公財)岡山県郷土 文化財団
後楽能	11月3日 (土・祝) 12:00開演	《対談》「岡山の能と鶴」 金関猛 ほか 【舞囃子】「高砂」 大島輝久 ほか 【狂言】「末広がり」 田賀屋夙生 ほか 【能】「鶴」 大島衣恵 ほか	岡山能楽会 (共催:岡山県)
田賀屋狂言会 ～能舞台へ行こう 狂言で大笑い～	11月23日 (金・祝) 14:00開演	【狂言】「三番三」 島田洋海 ほか 「三本柱」 茂山千五郎 ほか 「蝸牛」 田賀屋夙生 ほか	田賀屋狂言会 (共催:岡山県)

○能楽ワークショップ（能と狂言の体験会）（主催事業）

事業名	日程	内容	
狂言のワークショップ	11月17日(土) 13:30～	【講師】 田賀屋 夙生 氏	小学生以上であれば、どなたでもご参加 できます。ただし、事前申し込みが必要。 ※申込締切:10月25日。詳しくは、後楽 園公式ホームページをご覧ください。
能のワークショップ	11月24日(土) 13:30～	【講師】 大島 衣恵 氏	

○お話と見学で親しむ能楽の世界（主催事業）

日程	内容	
11月16日(金) 事前申込不要※ 【講演】14:00～16:00 【見学】12:30～13:40(所要約20分。当日の 12:00頃～13:10、楽唱の間にて受け付け。) ※定員超の場合、参加できないことがあります。	【講師】 京都工芸繊維大学 理事・副学長 小野芳朗氏 演題「岡山池田藩の能舞台 の構成」	能・狂言と能舞台にまつわる 様々な「ひみつ」を、楽しいお話 とミニ・シアターツアー（舞台見 学）を通じて解き明かし、能楽に 親しんでいただきます。

○他施設との連携事業

岡山後楽園能舞台60周年記念事業と連携し、以下の展覧会において、旧岡山藩主池田家伝来の能装束が展示されます。

【林原美術館】

展覧会名	日程
王朝文学への憧れ—歌・物語に染まる、もののあわれ—	9月15日(土)～11月4日(日)

野崎家塩業歴史館における連携事業（展覧会）は、終了しました

※上記各事業の内容は、変更になる場合があります。追加・変更情報等は、
岡山後楽園の公式ホームページ <http://okayama-korakuen.jp/>（右記QRコード）
で公開しますので、最新の情報をご確認ください。

